

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	059 SDG s 未来都市事業					
予算科目	01-020108-21 SDG s 推進に要する経費			担当部課	政策イノベーション部持続可能都市戦	
市長公約	8	77-1		係名		
戦略プラン	IV-1	1	2	SDG s パートナース (団体会員) の推進	新規・継続	継続
	IV-4	1	1	食品ロス削減に向けた意識啓発	事業分類	自治事務 (任意)
					事業体制	一部委託
個別計画	つくば市SDG s 未来都市計画				事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	11住み続けられるまちづくりを
						17パートナーシップで目標を達成しよう
						12つくる責任つかう責任

事業の概要

対象	市民、市内に在勤・在学する者、事業者
目的	社会・経済・環境の3側面を重視した優先的なゴールとKPIを設定した「つくば市SDG s 未来都市計画」を推進することで、持続可能都市ヴィジョン及び持続可能都市宣言に掲げる都市像の実現を目指す。
概要 (取組内容)	地域の課題解決や活性化に貢献し、持続可能なまちづくりを進めていく人材が育つ環境づくりを行うため、つくば市SDG s 未来都市計画の進行管理を行う。 また、つくばSDG s パートナースを通して、団体会員同士の連携を促進するとともに、食品ロス等のSDG s に関する課題解決を図る。

コストの推移

項目		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円) 0	593	217	229	229	
	決算額	(千円) 1,079	151	86	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 1,079	151	86	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 0	0	0	0	0
		その他	(千円) 0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円) 12,517	1,530	3,158	1,489	1,489	
	内訳	正職員従事割合	(人) 1.70	0.20	0.45	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間) 400.00	69.00	34.00	50.00	50.00
		会計年度任用職員有無	(-) 無	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	広報紙 (食品ロスの周知)
企画・立案、計画	
実行	ホームページやSNS等での情報発信 (パートナーズ団体会員イベント情報/食品ロス)
評価、検証	アンケート等

指標の推移

1	指標名	食品ロス削減に向けた広報、講座、イベント等での周知回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	実績	0.0	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策IV-4-①市食品ロス削減に向けた意識啓発) 食品ロスに関して学ぶ環境教育に取組とともに、市民に食品ロス削減に対する意識の醸成を図る。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	食品ロス削減に向けた意識啓蒙への効果的な周知として、いばらき食べきり協力店への登録を強化した。	
成果	広報つくば1月号及びポータルサイトで、市のSDGsへの取り組みを周知した。 10月の食品ロス削減月間に実施したフードドライブキャンペーンでは、7つのSDGsパートナーズ団体会員の協力のもと食品を集めることが出来た。	
課題	業務	食品ロス削減に向けた意識啓蒙への効果的な周知を図る。
	組織、予算等	食品ロス削減に向けて、県及び関係部署と連携して業務を進める。
改善目標	SDGs未来都市計画の推進に向け、特に食品ロス削減について市内での情報共有を図る。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	069 アイラブつくばまちづくり事業						
予算科目	01-020108-12 アイラブつくばまちづくりに要する経			担当部課	政策イノベーション部持続可能都市戦		
市長公約	7-1			係名			
戦略プラン	I-4	2	3	ふるさと納税のPR強化		新規・継続	継続
						事業分類	自治事務（任意）
						事業体制	職員のみ
個別計画						事業期間	毎年度
根拠法令等	つくば市まちづくり寄附規則					SDGs	17パートナーシップで目標を達成しよ

事業の概要

対象	市民、事業者、市外在住者
目的	いただいた寄附を市民のまちづくりに関する事業に活用することで、市民協働の活性化にも貢献する。返礼品を通じて観光や物産など市の魅力を発信する。
概要 (取組内容)	ふるさと納税専用サイト等による寄附金を受けけるとともに、寄附に対する返礼品を送付することで、寄附者との関係性づくりを図る。 また、寄附金を活用した事業について、寄附金額や件数等の活用状況を明らかにすることで、使途の見える化を図り、共感を得ていくことで一層の寄附を募る。 更に、一定金額以上の寄附を受けた寄附者の表彰を行うことで、寄附者に広く感謝の意を表す。市の特徴的な返礼品開発を進める。いただいた寄附を市民のまちづくりに関する事業などにも充当する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	49,997	63,782	174,631	174,631	
	決算額	(千円)	52,447	86,221	95,930	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	52,447	86,221	892	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	95,038	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,828	8,534	10,432	8,809	8,809	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.90	1.20	1.45	1.20	1.20
		正職員時間外勤務	(時間)	700.00	152.00	215.00	250.00	250.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページやSNS等での情報発信
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	アイラブつくばまちづくり表彰式・フォーラムを開催し、寄附の使い道等を広く周知する。

指標の推移

指標名	ふるさと納税の年間寄附件数 (件)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	2,800.0	3,500.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0
	実績	7,761.0	9,518.0	10,426.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策 I-4-①市内外へ向けたPRの推進) 年間寄附件数を増やすとともに、リピーターを増やし、個別施策の指標である年間寄附人数の増加に寄与させる。【R1、R2、R3実績値は、翌年2月末までの暫定値】					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	ワンストップ特例申請業務については、RPAの活用、及び手順の見直しを行い改善に努めた。	
成果	寄附を募るためのポータルサイトを2社追加し、新たな層へのPRや様々な返礼品の追加を行い、市の魅力発信につなげた。	
課題	業務	ワンストップ特例申請について、業務の委託を検討する。
	組織、予算等	寄附を募るためのポータルサイトの追加により業務量が増加及び業務内容が煩雑なことから、組織の拡充が必要。
改善目標	ワンストップ特例申請の業務について、更なる効率化を目指す。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	084 つくばSDGsパートナー講座						
予算科目	01-020108-21			SDGs推進に要する経費		担当部課	政策イノベーション部持続可能都市戦
市長公約	8					係名	
戦略プラン	I-1	4	1	つくばSDGsパートナー講座		新規・継続	継続
						事業分類	自治事務（任意）
						事業体制	職員のみ
個別計画						事業期間	毎年度
根拠法令等						SDGs	11住み続けられるまちづくりを
							17パートナーシップで目標を達成しよ

事業の概要

対象	市民、市内に在勤・在学する者、事業者
目的	本市が持続可能都市を実現させるに当たり、現在の社会全体の意識を変え、企業や個人等を巻き込み、各々が行動を変えていく仕組みづくりを構築していく。
概要 (取組内容)	課題を自ら見つけ、その解決策を検討し、実行に移していく「つくばSDGsパートナー」を認定するため、つくばSDGsパートナー講座を開催する。 講座では、SDGsの17ゴールに関する取組について、学識経験者やNPO等の市民活動団体等からの講義を受け、自らが活動していくためのきっかけづくりを行っていく。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	337	329	427	427	
	決算額	(千円)	0	282	281	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	282	281	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	4,240	4,183	4,198	4,198	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.60	0.60	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	65.00	34.00	40.00	40.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	アンケート、ホームページやSNS等での情報発信
企画・立案、計画	
実行	ホームページやSNS等での情報発信
評価、検証	アンケート等の実施により、会員からのフィードバックを受け事業実施に反映する。

指標の推移

1	指標名	SDGsパートナー講座の開催回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	6.0	4.0	4.0	4.0	4.0
実績	0.0	3.0	4.0	0.0	0.0	0.0	
指標の概要	(個別施策 I-1-④SDGs普及による市民活動の促進) SDGsパートナーズ個人会員に認定するSDGsパートナー講座を指標にすることで、個別施策の母数であるパートナーズの数を増やす。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	ワークショップ方式の講座の実施を目指したが、コロナの影響によりオンラインでの講座のみとなった。				
成果	コロナウイルス感染症のため、昨年度に引き続き講座をオンラインで4回実施した。オンラインでの開催はコロナ禍でも多くの参加者を集めることが出来る。				
課題	<table border="1"> <tr> <td>業務</td> <td>コロナ禍のためワークショップ方式の講座の実施が難しい。</td> </tr> <tr> <td>組織、予算等</td> <td></td> </tr> </table>	業務	コロナ禍のためワークショップ方式の講座の実施が難しい。	組織、予算等	
業務	コロナ禍のためワークショップ方式の講座の実施が難しい。				
組織、予算等					
改善目標	コロナの状況によるが、対面でのワークショップ方式の講座を実施する。				

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	085 社会課題解決型ワークショップ「SDGsTRY」事業					
予算科目	01-020108-21 S D G s 推進に要する経費			担当部課	政策イノベーション部持続可能都市戦	
市長公約	8			係名		
戦略プラン	I-1	4	2	社会課題解決ワークショップ	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					17パートナーシップで目標を達成しよ	

事業の概要

対象	市民、市内に在勤・在学する者、事業者
目的	本市が持続可能都市を実現させるに当たり、現在の社会全体の意識を変え、企業や個人等を巻き込み、各々が行動を変えていく仕組みづくりを構築していく。
概要 (取組内容)	ワークショップを開催し、様々なステークホルダーとの対話を繰り返すことで、本市の課題を自ら見つけ、その解決策を検討し、実行に移していくことを目指す。 ワークショップの中では、これから活動を始めるに当たって参考となる有識者からの講演や課題の現場における意見を取り入れる機会をつくるための交流イベント等を開催することで、つくばSDGsパートナーズの会員同士の連携促進を図る。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	4,334	4,346	4,365	4,729	
	決算額	(千円)	0	4,334	4,309	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	9	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	4,334	4,300	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	7,009	6,944	6,956	6,956	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	85.00	45.00	50.00	50.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	アンケート、ホームページやSNS等での情報発信
企画・立案、計画	ワークショップ
実行	ホームページやSNS等での情報発信
評価、検証	アンケート等の実施により、会員からのフィードバックを受け、事業実施に反映する。

指標の推移

1	指標名	ワークショップにより実施された活動回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	実績	0.0	2.0	4.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(個別施策 I-1-④SDGs普及による市民活動の促進) 社会課題解決型ワークショップにより実施された活動を増やすことで、個別施策の指標に掲げる、社会課題の取組に参加している割合の増加に寄与させる。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	今年度はSDGsパートナーズの個人会員だけでなく、団体会員も参加したことにより、活動の幅が広がった。参加者からも団体会員の参加には好意的な意見を得ることが出来た。
成果	オンラインによる全3回のワークショップを行った。活動が延期になったものもあるが、コロナ禍でも実施出来るような工夫をし、SNSでの発信（インスタグラム）など、参加者の方々がコロナの影響を考慮した活動を実施した。
課題	オンラインのみのワークショップのため、参加者間の情報共有や連絡方法に工夫が必要。
改善目標	参加者間の連絡方法や情報共有の方法についてツールの利用などにより改善を図る。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	